

2003年7月28日

No.27

又市征治 国政だより

又市征治事務所
発行責任者 谷岸 孝士
富山市下新町 4-27
TEL 076-441-0800
HP: www.s-mataichi.com

156 通常国会を終えて

2003.7.28.
参議院議員 又市 征治

悪法次つき成立し、くらしは悪化

本日、第 156 回通常国会が終わりました。小泉内閣は 40 日間も大幅に会期延長し、190 日の間に反国民的法案を続々強行しました。まず第 1 に健康保険窓口負担の 1.5 倍化、年金引き下げ、生活保護基準や児童扶養手当の切り下げ、酒・タバコ増税など 4 兆円の負担増。第 2 に、労働法制(労基法・派遣法・職安法、雇用保険法)の改悪、個人情報保護できない「保護法」、生命保険の利率引下げ法、国の統制を強める国立大学独立法人法、住民サービスを切り下げる地方独立法人法、大企業救済の産業再生機構法。そして第 3 に、「戦争放棄を宣言した憲法」を棚上げして「戦争ができる国」へ転換する「有事三法」と「イラク派兵法」です。



「翼賛国会」は戦争準備への道



有事法制について国会議員の 9 割もが賛成しました。先の大戦の反省と教訓を踏みにじり、実質的な改憲、「新たな戦前」へと突き進む政治の反動化です。当初はこれに異を唱えながら、保身(選挙)のために賛成していく民主党の「良識派」と言われた議員たち。

この人たちにいくらかの期待を掛けていた自らの不明さを恥じます。民主・自由両党の合流は、自民党に取って代わろうとする「もう一つの保守政党」ではないか。改めて「社民党が小さくなって政治がおかしくなった」ことの責任を痛感しました。

国会の内外で 皆さんの声を

私はこうした小泉内閣の「国民犠牲と戦争をする国づくり」に対決すべく、今国会でも質疑を 25 回(通算 89 回)、1~7 月に全国での国政報告・遊説を 56 回(通算 154 回)行い、党では政審副会長、参議院幹事長・国対委員長、選対副本部長として全力投球してきました。これもひとえに皆さん方の支えがあればこそで、衷心より感謝しております。

秋の総選挙では社民党を再び大きく

秋の選挙戦は、小泉内閣の「国民犠牲と戦争をする国づくり」の継続を許すか否かの一大政治決戦です。消費税大幅アップなど大増税、社会保障・福祉の一層の切り下げが待っています。さらに、自衛隊を米軍の戦争に「常時」派兵する法制も準備しています。

ここで石にかじりついて社民党の前進を勝ち取らねばなりません。歴史の大きな曲がり角に立って、10 年後に、「あの時もっと闘っておけば」と後悔することがないように、いまこそ全力でともに闘おうではありませんか。

時節柄、ご自愛のほどをお祈り申し上げ、ご挨拶といたします。

